



14

ものの見方・感性を養う
壁に残された伝言
私の読書体験 生涯の友と出会う

井上 恭介 (いのうえ きょうすけ)

ねらい

- ① 文章を読んで理解し考えたことを知識や経験と結びつけ自分の考えを広げたり深めたりしよう。
- ② 文章全体と部分との関係に着目し、内容を理解しよう。

☒ ウォーミングアップ



■文章の構成と内容

序論	本論			結論
前書き	白黒逆転のメカニズム			無限に連鎖する「あの日」
筆者は「あの日」をたどる取材を始めた。	白黒逆転のメカニズム ・煤で黒くなった壁に白いチョークで書かれ、数か月以上放置されてチョークが固まった。 ・戦後、壁の補修の際に壁の煤を洗い流したが、固まったチョークとその下の煤は残ったまま新しい壁を塗った。 ・上塗りした壁とチョークが剥がれ落ち、伝言が黒い文字として現れた。			五十数年という時間
筆者は「あの日」をたどる取材を始めた。	保存の条件 ① 凹凸の少ない、真つ黒なコンクリートの壁に、白いチョークで書かれたこと。 ② チョークの伝言がある期間放置されたこと。			「あの日」のこ
筆者は「あの日」をたどる取材を始めた。	・一九九九年春、「被爆の伝言」の一部が見つかった。 ・見つかった文字は、写真と違い、黒かった。			「あの日」のこ
筆者は「あの日」をたどる取材を始めた。	・マスコミは「被爆の伝言」を大きく取り上げた。 ・被爆体験の風化が叫ばれる二十世紀の終わりだったからこそ、伝言が見つかったことに意味がある。			「あの日」のこ
筆者は「あの日」をたどる取材を始めた。	・「被爆の伝言」は、現代の私たちに、「あの日」のこ - とを語ってくれる遺産であり、証人である。			「あの日」のこ
筆者は「あの日」をたどる取材を始めた。	・「あの日」が伝わっていく無限の連鎖は、今も続く。			「あの日」のこ



① この文章には、
 〔 〕
 が発見された経緯と

② 筆者は、「被爆の伝言」は原爆が投下された日のことを現代の私たちに語ってくれる
 であり、
 であると考えている。

漢字・語句を確認しよう。

1 線の読み仮名を書きなさい。

- 2
- 線の片仮名を漢字で書きなさい。
- | | | | | | |
|----|----------------|---|----|----------------|---|
| □③ | 家を建て力える。 | (| □③ | 学生寮に住む。 | (|
| □① | アメツユをしのぐ。 | (| □① | みんなの意見が一致する。 | (|
| □④ | ろうそくのホノオを見つめる。 | (| □④ | 切手が剥がれる。 | (|
| □② | ジゴクのような光景が広がる。 | (| □② | 会費を払う。 | (|
| □⑤ | 廊下をほうきではく。 | (| □⑤ | 硫酸カルシウムに水を加える。 | (|

□⑤ ヒバクした人の話を聞く。

□⑥ 誰かがいたコンセキがある。

3 次の各問いに答えなさい。

(1) 次の語句の意味として最も適切なものをあとから選び、記号で答えなさい。

□① 前代未聞^{みもん}

ア まだ誰も到達したことがない、困難なこと。

イ これまで試したことのない、新しいこと。

ウ 前例の範囲^{はんい}を出ない、ありきたりなこと。

エ 聞いたことのないような、珍しいこと。

□② 赴任^{ふにん}

ア 役目を任されること。

イ 任地へ行くこと。

ウ 前任者から仕事を引き継ぐこと。

エ 受けもった仕事の責任をとること。

□③ 立ちつくす

ア その場にじっと立ち続けている。

イ 歩くのをやめる。

ウ 人や物の前に立って、さえぎる。

エ 立ったままで仕事をする。

(2) 次の——線部の語句の意味を答えなさい。

□① 前例を鑑^{かん}みれば、今回も会場が大混雑するのは明らかだ。

□② 買い物に行く約束は翌週に変わっても支障^{ししょう}はない。

(3) 次の語句の類義語として最も適切なものをあとから選び、記号で答えなさい。

□① ことごとく

ア 何となく イ 少し

ウ びっしり エ すっかり

□② 臨時

ア 当時 イ 常時

ウ 一時 エ 定時

(4) 次の語句を使って短文を作りなさい。

□① 辛うじて

□② 忍びない

私の読書体験 生涯の友と出会う

教科書 P. 88 ～ P. 89

1 作家の小川洋子^{おがわようこ}さんは、アンネ・フランクが書いた『アンネの日記』を十三歳の頃に読み、時と場所を越えてアンネと友達になれたかのような気持ちになったと述べています。小川さんにとって、『アンネの日記』は生涯の友といえます。

これまでにあなたが読んだ本の中から、心をひかれ、また読んでみたいと思う本を一冊選び、書名と作者名(筆者名)を書きなさい。

□書名

□作者名
(筆者名)

練習問題 1

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

教科書 P. 82
2. 5
3 P. 84
2. 5

□(1) 線①「広島市立袋町国民学校西校舎」について説明した次の文の□に入る言葉を文中から書き抜きなさい。

が落とされて付近に建物がほとんど残っていない

かつたので、数少ない

として、

に使われた。

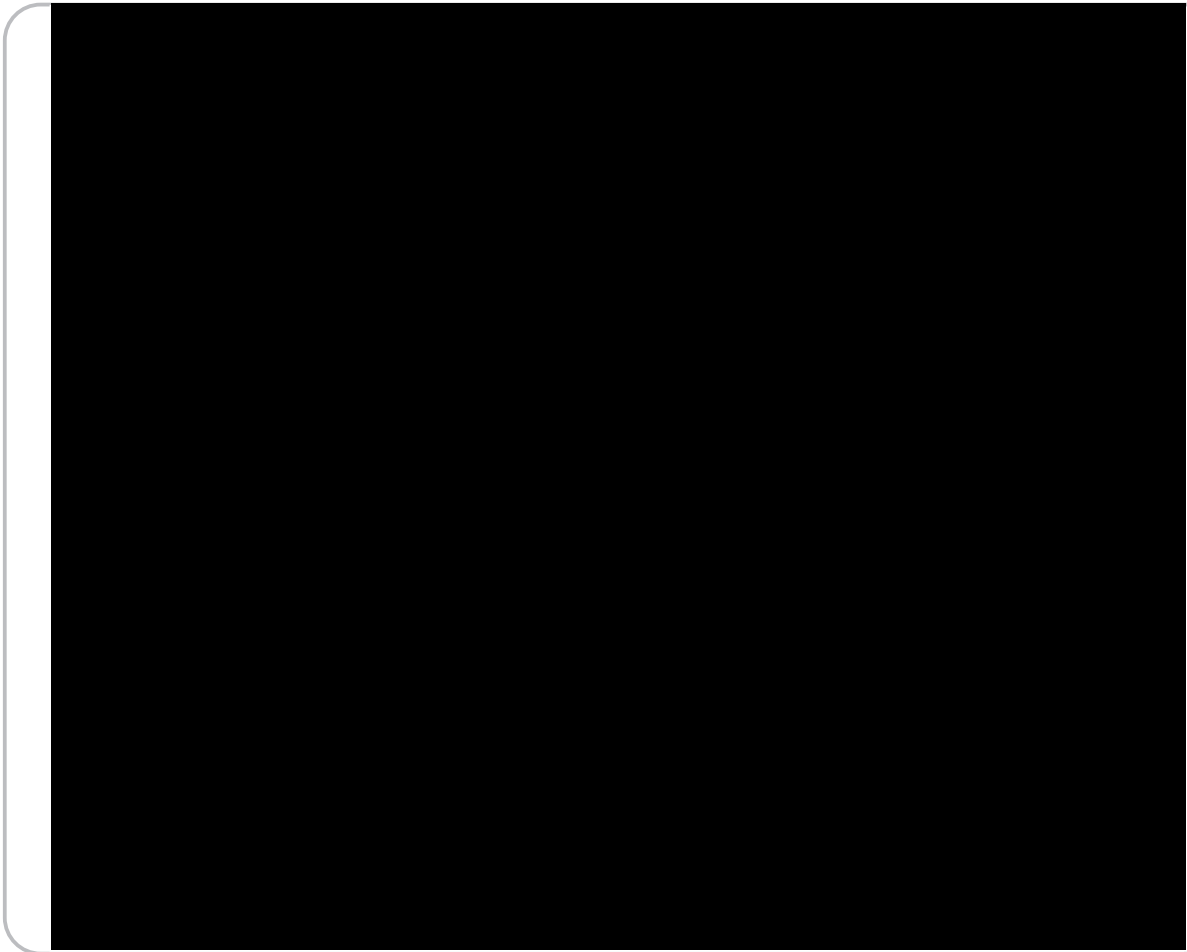
□(2)——線②「伝言の文字は、書かれたあと校舎が補修されるまでの間、そのまま放置された」とありますが、どのくらいの期間放置されたと考えられますか。十字程度で書きなさい。

[illegible]

□(3) — 線③「煤」とありますが、どんな煤ですか。文中から二十字以上二十
五字以内で書き抜きなさい。

[illegible]

(4) — 線④「伝言が保存され」ることになった条件を述べた、「〜こと。」で終わっている文を二つ、文中から書き抜きなさい。



□ (5) — 線⑤「白黒逆転して現れた」とは、どういうことですか。最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア 白く書かれた文字のみが見えていたのに、黒く書かれた文字だけが見えるようになったということ。

イ 書かれたときは白い文字だったはずなのに、現れたときには黒かったということ。

ウ 当初白かった文字は黒くなり、黒かった文字は白くなって現れたということ。

エ 壁が黒いときは白い文字が読みやすいが、白い壁になると黒い文字が読みやすくなるということ。

()

□ (6) 壁に書かれた伝言が残されたいきさつを説明した次の文の□□に入る言葉を文中から書き抜きなさい。

□ のついた壁に □ で伝言が書か

れた。 ↓ チョークを残して壁は洗

い流され、新しい □ が塗られた。 ↓ 剥がれた壁と一緒にチョー

クが取り除かれ、その下の □ が文字として現れた。

定期テスト対策

教科書 P. 80 ~ P. 87

実施時間のめやす ↓ 20分

得点 / 100点

① 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

□ (1) 線①「あの日」とはどんな日ですか。十字程度で書きなさい。(10点)

10

[illegible]

イ 新しい原爆の資料の出現に感動したから。
ウ 伝言を書いた人たちの思いが、心に重く響いたから。
エ 伝言が保存されていたことが不思議だったから。

原爆の直後に、

--	--	--	--

ために壁に書かれた「被爆の伝

言」は、「あの日」のことを

--	--	--	--	--

に語って

くれる遺産であり、証人である。

☐ ① 交替で運転する。
 ()
☐ ② 損害を被る。
 ()

□③ ビルが炎上する。()

() □④ 肌を露出する。()

☐⑤ やけどの痕。()
☐⑥ ペンキが剥離する。()

□⑦ バス代をハラう。()

□⑧ 意見がイッチする。()

□⑨ ロウカを歩く。() □⑩ 学生リョウに住む。()

思考・表現 筆者は「伝言の『あの日』が伝わっていく無限の連鎖は、今も続いている」と述べていますが、「無限の連鎖」という言葉から、筆者のどんな思いを感じますか。あなたが感じたことを三十字以上四十五字以内で書きなさい。

45	30
----	----